

node-red のインストール

v0.1

ラズパイ zero と 3B などと共用できないとの情報があります。出来る場合もあるようですが、使用するラズパイにて新規インストールされることを推奨します。

なお、

zero ではインストールには結構時間がかかります。

◆インストールコマンド

```
bash <(curl -sL https://raw.githubusercontent.com/node-red/linux-installers/master/deb/update-nodejs-and-nodered)
```

◆インストール後 以下のコマンドで一旦起動してみてください。

```
node-red-pi --max-old-space-size=256
```

◆ブラウザでエディター画面を表示する。

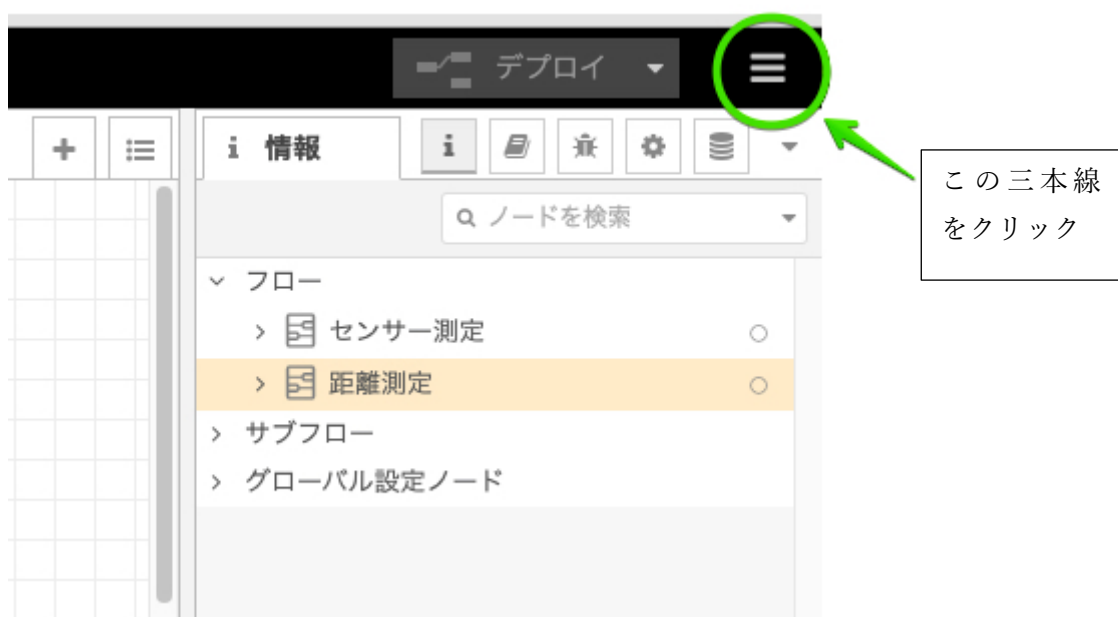
ローカルで開く場合は <http://localhost:1880>

別のパソコンから開く場合は [http://\(nodr-redの入っている機器のipアドレス\):1880](http://(nodr-redの入っている機器のipアドレス):1880) で、ブラウザを開いてください。

◆パレットの管理にて追加(標準では入っていないフローを追加して使用しています)

node-red-contrib-calc

node-red-dashboard





パレットの管理をクリックして、パレットの追加を選択し、
node-red-contrib-calc
node-red-dashboard
検索して、追加してください。

◆フローの読み込み



テキストエディタ等で開き、コピペして
node-red にて読み込みます。

以下の三つを読み込んでください。

LED+sw.txt

状態表示.txt

OLED 表示.txt

◆デプロイ

読み込んだり、編集したあとは、使える状態にするためにデプロイする必要があります。



以上で、フローの読み込み・デプロイが完了し、即プログラムが起動している状態になっています。

フローを編集したら、書き出しボタンを押して、コピーして保存管理ができます。

◆UI 画面の出し方

[http://\(nodr-redの入っている機器のipアドレス\):1880/ui](http://(nodr-redの入っている機器のipアドレス):1880/ui)
で UI 画面が表示されます。

同じ LAN 上の pc のブラウザからも同じです。

1.



の順に画面をクリックしても
UI 画面が表示されます。

以上